

2023年6月16日

一般社団法人 日本自動車会議所 2023年度定時総会懇親会

内山田 竹志会長 ご挨拶

日本自動車会議所会長の内山田でございます。

本日は、国会開会中であり、また公務ご多用の中、経済産業大臣の西村康稔様、国土交通大臣政務官の西田昭二様はじめ、政府・国会議員の皆さま、当会議所の会員の皆さま、そして自動車関係団体・企業の皆さまはじめ、このように多くの方々にお集まりいただき、本当にありがとうございます。

コロナ禍の前の状態で総会後の懇親会を、4年ぶりにこうして開催に開催することができました。皆さまと直接お会いした場を持つということ、大変ありがたく、また嬉しく思っております。

さて、先ほど開催されました総会におきまして、ご提案いただきました議案につきましては、全てご承認いただきましたことを、まずは皆さまにご報告申し上げたいと思います。

いま、少子高齢化をはじめ大きな社会課題が山積する中で、われわれ自動車産業挙げてカーボンニュートラルの実現や、DX・GXの推進にチャレンジしております。そうした中で、自動車産業の再結末という、活動の大きな方向性に向けて、いつも申し上げているように、当会議所は550万の自動車産業にかかわる人々の力を一つにまとめる総合団体としての役割を果たしていきたいと思っております。

本年は、「ジャパンモビリティショー 2023」も行われますので、ここにおられます皆さまをはじめ自動車産業の力を集めて、その盛り上げを会議所としても実行していくと同時に、従来から進めております重点事業、すなわち税制、交通安全、自賠責の繰り戻し、そして自動車ファン・バイクファンを拡大していくという重点事業を柱に活動を進めてまいりたいと思います。どうぞ皆さま、よろしく願いいたします。

これまで以上に自動車業界の結束が求められている今こそ、当会議所は自動車関係の総合団体として、引き続き着実にその役割を果たしてまいり所存です。

とりわけ、「税制」につきましては、先の大綱においてエコカー減税の据え置き・延長を実施していただき、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。しかしながら、わが国の自動車ユーザーは、まだまだ大きな税負担を強いられております。自動車の購入から保有、そして使用、このプロセスで極めて過重で複雑な税が自動車には課せられており、これは世界的に見ても非常に重いユーザー負担となっております。

先ほども申しあげましたカーボンニュートラルの実現に向けては、税体系も抜本的に見直しをされるものと思っております。これを一つの大きな機会ととらえ、自動車ユーザーの負担が軽くなるよう、われわれも税制について勉強し、また皆さまと連携をしながら改革を進めてまいりたいと思います。特に政府・国会議員の皆さまにおかれましては、何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げたいと思います。

当会議所は、自動車関係の総合団体として、引き続き業界の連携促進と発展・向上に尽力してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は限られた時間ではありますが、せっかくの機会ですので、この後、時間の許す限り、ご懇談いただければ幸いに存じます。最後に、ご出席の皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

以上